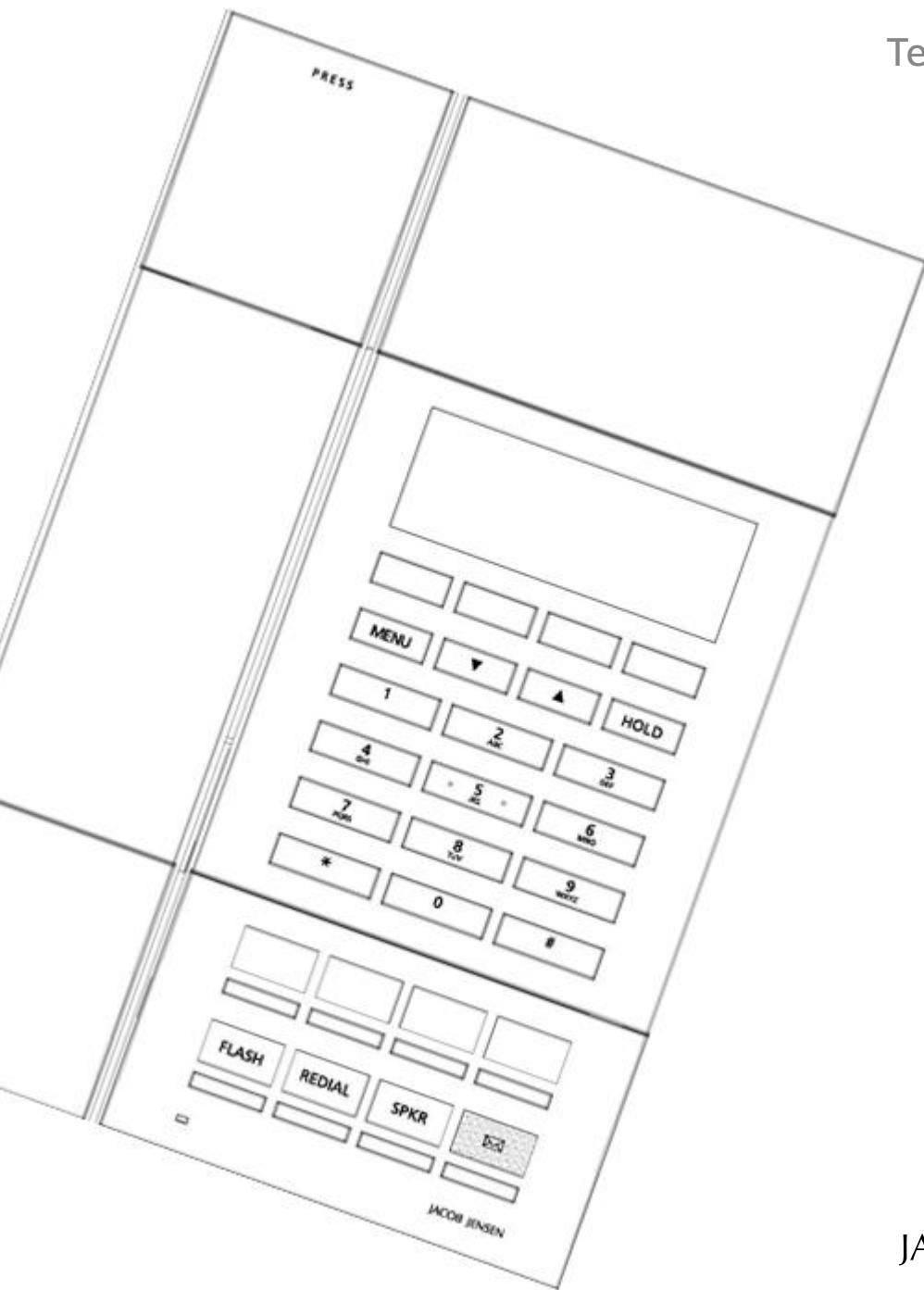


Telephone IP60



取扱説明書

JACOB JENSEN™

Jacob Jensen IP60 取扱説明書

Jacob Jensen IP60 テレフォンをお買い上げいただきありがとうございます。

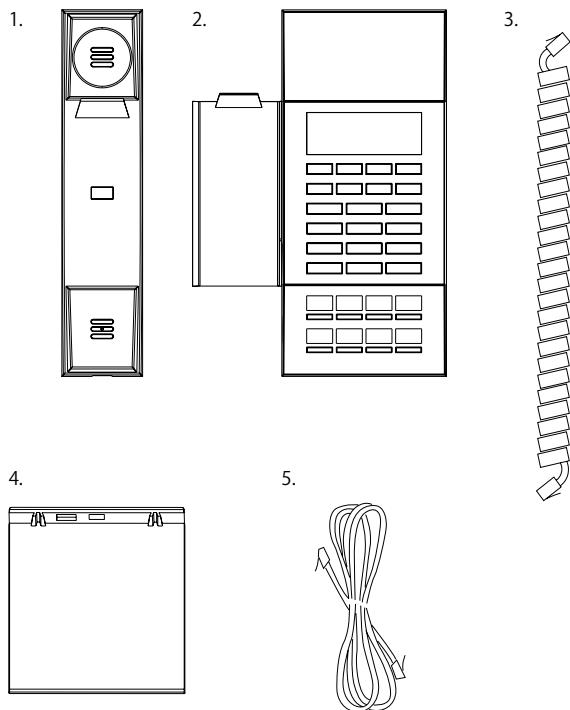
本製品は、デンマークのデザイナー Jacob Jensen - ヤコブ・エンセンのデザインによるものです。彼の生み出す製品は、独自性に富むシンプルでクラシカルなデザインにより、国際的な評価を得ています。Jacob Jensen は、これまでに世界各国で 100 件にのぼる賞を受けており、ニューヨークの近代美術館のデザイン・スタディ・コレクションおよびデザイン・コレクションには、彼のデザインした製品 19 点がおさめられています。

本機を使用するには PoE 機器が必要となります。

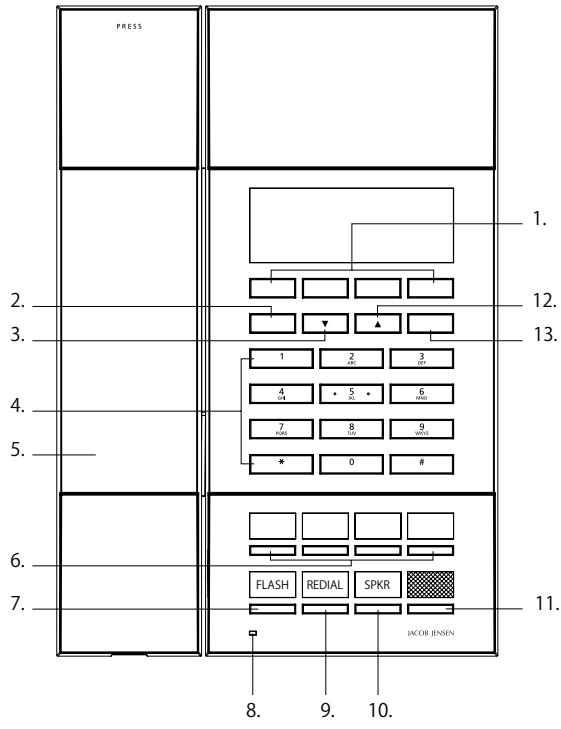
1 基本機能

- 発信元 ID 表示 (FSK, DTMF)
- 補聴器両立性保護機能付きハンドセット（補聴器の保護）
- メッセージウェイティングランプ
- ワンタッチボタン 4 力所
- IP アドレスの取得は DHCP (ダイナミックホスト構成プロトコル) または固定 IP アドレス
- G.711/G.722/G.729AB/G.726/iLBC
- SIP サポート : V2/SDP/RTP/RTCP/STUN/SNTP/SNMPV2
- IEEE802.1Q 標準、IEEE802.3 を標準でサポート
- 標準 SIP プロトコルサポート
- プログラムアップデートは HTTP あるいは TFTP で可能
- 動的音声検知 : 音声ポリッキング、音声バッファリング
- PoE 電源供給 : 電源アダプターによる PoE
- ライン 1 とライン 2 をサポート
- 設置方式は机上、壁掛け兼用

1. 送受話器
2. 電話機本体
3. 送受話器用カールコード
4. テーブルスタンド
5. 回線コード



2 機能・表示説明



本体部

- | | | |
|------------|--------------|-------------|
| 1. ソフトキー | 6. ワンタッチキー | 11. MSG キー |
| 2. MENU キー | 7. FLASH キー | 12. ▲キー |
| 3. ▼キー | 8. 表示（受信） | 13. HOLD キー |
| 4. 数字キー | 9. REDIAL キー | |
| 5. ハンドセット | 10. スピーカーキー | |

ベース部

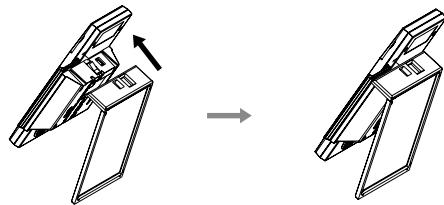
- | |
|--|
| 14. LAN ポート |
| 15. WAN ポート |
| 16. 電源ジャック (AC アダプタを接続することは可能ですが添付されません。PoE でのご使用をお勧めします。) |
| 17. ハンドセットコード、ジャック (カールコード) |

3 本機の取り付け

3-1. テーブルスタンドを使用する場合

- 付属のテーブルスタンドを次の方で取り付けてください。
- テーブルスタンドの細長い突起部を底部の溝にカチッと音がするまで差し込みます。
 - 電話機を電話コンセント（家庭用のモジュラー式のソケット）につなぎます。

3-1.

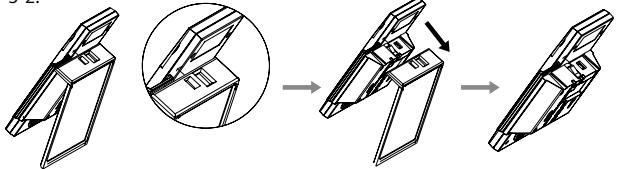


3-2. 壁掛けの場合

次の方で本機を壁に取り付けてください。

- 指定の寸法(55mm間隔)に2本の直径6mmのネジを固定し、テーブルスタンドを固定します。※ネジは付属しておりません。
- 壁に取り付けたネジに本機を取り付けます。
- 電話機を電話コンセント（家庭用のモジュラー式のソケット）につなぎます。

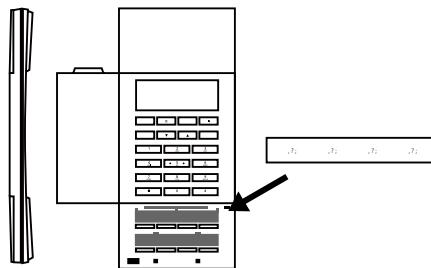
3-2.



3-3. テーブルスタンドの取り外し方法

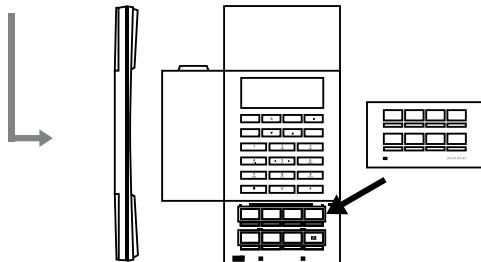
モジュラージャックの下の四角穴の中にあるボタンをペンか指で押しながら、テーブルスタンドを引き抜きます。

3-4.



3-4. フェイスプレート（発信元表示）の取り付け方法

下図のように宛先を表示した紙を作成し、カバーを取り付けます。



3-5. 各種コードの取り付け

- ハンドセット（カールコード）は、一方のコネクタを送受話器の片方に差し込みます。もう一方のコネクタを本体のジャックに差し込みます。
- WAN ポートを LAN ケーブルにより PBX の PoE ポートに接続します。
- デフォルトモードは DHCP です。詳細は設定の項目を参照してください。

4 電話機の設定

4-1. IP アドレスブロードキャスト

オンフック（受話器を上げない）状態で **[HOLD]** ボタンを押すと、液晶に IP アドレスが表示されます。

4-2. ウェブブラウザによる設定

得られた IP アドレスを WEB インターフェースに入力します。

地址① <http://xxx.xxx.xxx.xxx>

ユーザー名とパスワードを WEB インターフェース上に入力します。



注 1：管理者モードでの初期のユーザー名とパスワードは "admin" です。ユーザー モードでのユーザー名とパスワードは "user" です。管理者モードでの全ての WEB 設定を確認できます。一方ユーザー モードでは部分的に確認できます。

注 2：工場出荷は DHCP です。電話機を接続するだけで自動的にお客様の DHCP サービスに接続されます。

電話機の IP を確認した後で、パソコンがネットワークに接続されている事を確認してください。その後パソコンと電話機の IP アドレスを確認します。例えば、電話機の IP が 192.168.1.171 とすると、パソコンの IP アドレスは 192.168.1.*** (** は任意の数値で 0 ~ 171 を除く 255 までの値となります)。

4-3. ウェブ機能詳細

A. 電話機の状態

B. ネットワーク設定

電話機の IP アドレスは DHCP サーバーで自動的に割り当てられます。WEB インターフェースで実環境に従いパラメーターを設定します。

| | |
|-------------------|---|
| WAN IP Mode | WAN ポートの IP アドレスを取得する 固定 / DHCP / PPPoE / ブリッジ |
| MAC Address Clone | MAC アドレスクローンを有効にするか無効にするか選択 |
| NAT Enable | NAT 機能を有効にするか無効にするか選択 |

| | |
|-----------------|---|
| VLAN Mode | VLAN 機能を有効にするか無効にするか選択 |
| VLAN ID | VLAN ID を入力 |
| DNS Mode | DNS モードが手動の場合、プライマリ DNS とセカンダリ DNS を手動で設定します。自動が設定されている場合は、本電話機が DHCP サーバーにより自動的に取得します。 |
| Primary DNS | プライマリ DNS を入力 |
| Secondary DNS | オプション設定 |
| IP Address | ネットワークの IP アドレス |
| Subnet Mask | ネットワークポートのサブネットマスク |
| Default Gateway | ネットワークポートのデフォルトゲートウェイ |

注 1：

- IP アドレス設定が DHCP から固定アドレスに変更された場合、全てのパラメーター（IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS）は手動で設定が必要になります。
- 変更になった IP アドレスを保管し、変更後の設定をします。その後、新しい IP アドレスを反映させるためリブートします。ネットワークが正常であるかどうか日々確認します。

C. SIP 設定

通常の電話機設定ではプロキシサーバー、ディスプレイの名称、電話番号、アカウント、パスワードを確認します。

| | |
|------------------------------------|--|
| Basic | 基本的な設定を VoIP サービス事業者より取得します。（電話番号、アカウント、パスワード、SIP プロキシ等） |
| Audio Configuration | 音声フォーマットを選択 |
| Supplementary Service Subscription | 補助機能 |
| Call Waiting | 保留を有効にするか無効にするか選択 |
| Hot Line | ホットラインの設定 |
| MWI Enable | MWI を有効にするか無効にするか選択 |
| Voice Mailbox Numbers | ボイスメールサーバー設定 |
| MWI Subscribe Enable | MWI 申込サポート |

注：WEB インターフェースにログインして LINE1 アカウントを設定する場合、ブラウザの URL 接尾を 0 にします。

http://192.168.x.xx/voip/SIP_Account1.asp?0

The screenshot shows a web browser window with the URL '172.16.5.129/voip/SIP_Account1.asp?0' in the address bar. The page title is 'Bittel Intelligent Technology Co., Ltd.'. Below the title is a navigation menu with tabs: Status, Network, SIP Account, Phone, and Administration. Under the SIP Account tab, there are four sub-options: Line 1, Line 2, SIP Settings, and VoIP QoS.

WEB インターフェースにログインして LINE2 アカウントを設定する場合、ブラウザの URL 接尾を 1 にします。

http://192.168.x.xx/voip/SIP_Account1.asp?1

The screenshot shows a web browser window with the URL '172.16.5.129/voip/SIP_Account1.asp?1' in the address bar. The page title is 'Bittel Intelligent Technology Co., Ltd.'. Below the title is a navigation menu with tabs: Status, Network, Wireless, SIP Account, Phone, and Administration. Under the SIP Account tab, there are four sub-options: Management, Firmware Upgrade, Certificates, Provision, SNMP, TR069, Diagnose, and Operating Mode. The 'Firmware Upgrade' section is highlighted, showing 'Local Upgrade' and an 'Upgrade' button.

本機では LINE1、LINE2 の 2 回線を使用できます。2 回線の設定が完了していれば、両方の回線で電話の着信と発信ができます。
LINE1 と LINE2 はそれぞれが SIP エンティティです。LINE2 も使いたい場合には IP PBX (ソフトウェア含む) 側でもうひとつ、セクションの追加が必要となります。

D. 電話設定

エンドユーザーはボリューム、保留などを設定できます。

| | |
|-------------------------------|--------------------|
| Handset Input Gain | ハンドセットのマイクの入力レベル調整 |
| Handset Volume | ハンドセットの受話音量設定 |
| Ringer Volume | 受信ベル音量の調整 |
| Speakerphone Mic Boost | スピーカーフォンのボリュームの調整 |
| Tone Type | 呼び出し音の設定 |
| Ringing Time (10sec - 300sec) | 受信（リング音）の時間調整 |
| All Forward | 受信した電話を転送 |
| Busy Forward | 話し中の時に転送 |
| DND | 着信拒否の設定 |

E. 管理設定

エンドユーザーはパスワード、言語、工場設定デフォルト等を設定できます。

F. アップグレード

| | |
|---------------|--|
| Local Upgrade | ブラウザをクリックし、“Upgrade”を選択します。アップグレードの後は各種設定がリセットされ初期状態となります。 |
|---------------|--|

The screenshot shows a web browser window with the URL '172.16.5.129/voip/SIP_Account1.asp?1' in the address bar. The page title is 'Bittel Intelligent Technology Co., Ltd.'. Below the title is a navigation menu with tabs: Status, Network, Wireless, SIP Account, Phone, and Administration. Under the SIP Account tab, there are several sub-options. The 'Firmware Management' section is highlighted, showing 'Firmware Upgrade' and 'Local Upgrade' buttons.

注：アップグレード後は工場設定に戻ります。

5 液晶ディスプレイの表示

G.WEB 操作

通常の設定以外は変更をしないでください。

| | |
|-----------------------|----------------------------------|
| 1. Phone Book | 電話番号の登録 |
| 2. Multi-Function Key | スピードダイヤルの登録 |
| 3. Call History | 最新の通話履歴の表示 |
| 4. Text Message | スピーカーフォンのボリュームの調整 |
| 5. Black List | 電話番号の登録 |
| 6. Preference | 言語、保留、自動応答設定 |
| 7. Ring Tone | 受信音の選択 |
| 8. Volume | 受信音の音量調節 |
| 9. Account | 電話のアカウント設定、サーバー設定 |
| 10. Call Forward | 転送の設定 |
| 11. Time / Date | 日付時間の設定 |
| 12. Voice Mail | ボイスメール番号の設定 |
| 13. Network | IP モード、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ設定 |

| | |
|--------------------|------------------------|
| 15. Product Info | 本機のモデル名とソフトウェアバージョンの表示 |
| 16. Status | ネットワークポートとアカウントの設定状況 |
| 17. Reboot | 電話機の再起動 |
| 18. Factory Reset | 設定を工場出荷時の状態に戻す |
| 19. Set Password | 管理用のパスワードの設定 |
| 20. LCD Contrast | LCD のコントラストの変更 |
| 21. Login / Logout | ログインとログアウト |

- a. 数値やシンボルを入力する際はキーパッドをご使用ください。
 - b. 数値、大文字と小文字の変更はキーパッドより "abc" を押してください。
 - c. 画面をスクロールする際は "UP" および "DOWN" ボタンをご使用ください。
 - d. "OK" で確認します。
 - e. "Save" で関係するソフトキーを登録します。
 - f. "delchr" で文字を消去します。
 - g. "cancel" でソフトキーを消去し、前のメニューに戻ります。
 - h. 管理用のパスワードとウェブログインパスワードは同じです。
"admin"
- CID および発信番号は 15 枠まで表示します。

6 操作方法

電話のかけ方

- a. 送受話器を置いた状態、あるいはハンドセットを上げた状態で電話回線は LINE1 に接続します。LINE2 の場合は "LINE2" を押してください。
通話中に "SPKR" ボタンを押すとスピーカーモードになります。
ハンドセットを置いてもスピーカーモードは継続します。"SPKR" ボタンをもう一度押すとスピーカーモードは解除されます。
- b. 送受話器を置いた状態で "SPKR" ボタンを押します。回線が接続されます。LINE1 が選択されます。LINE2 を押すと LINE2 に切り替わります。
ハンドセットを上げてください。通話はハンドセット側に切り替わります。通話終了時にハンドセットを元に戻してください。

リダイヤル

電話機を持ち上げた状態、あるいは "SPKR" を押して「REDIAL」を押します。最後に電話された番号にダイヤルします。
注：電話機をリブートした後は通話記録が消去されます。リダイヤルはできません。

スピードダイヤル

- a. スピードダイヤルを登録するには 2 種類の方法があります。
- 1) 手動
「MENU」を押します。2 数値を選んで入力します。パスワードを入れます。(デフォルトは admin) - Basic Board - Speed Dial (ここでキーを選んで押してください)- 電話番号を入力します。その後 "OK" を押して確認してください。LINE を選択します。
 - 2) WEB 登録
WEB を開きます。スピードダイヤルキーを選択します。登録して終了です。
- b. スピードダイヤルキーは異なる登録された電話番号と関係しています。電話機を持ち上げている時、ひとつのスピードダイヤルキーを押します。その番号に発信します。(電話番号は最大 19 枠)

電話の受け方

電話を受けます。

- 1) 受信音が鳴ったら指定の LINE キー、または "SPKR" ボタンを押すと通話ができます。受信音が鳴っている際に送受話器を上げると通話ができます。
- 2) 回線保留：通話中に "HOLD" キーを押すと通話が保留状態になります。相手方には保留音が流れます。再度 "HOLD" キーを押すと再び通話ができます。
- 3) 通話中に "FLASH" ボタンを押すと回線をつなぎ直します。

MSG コレクト

メッセージ LED が点滅しているとメッセージが届いている事を示します。送受話器を上げて、あるいは "SPKR" ボタンを押して「MSG」ボタンを押すと、事前に設定した番号にダイヤルできます。音声メール (IVR) よりメッセージを開きます。

工場設定に戻す

電源が入っている状態で「MENU」を押し、18 を選択します。パスワードを入力し OK を押します。電話機は初期状態に戻ります。

PoE 電源

PoE 機器の電源容量を確認してください。音声スピーカーや電源チャージ装置のレベルは 0 ~ 6 まで調整できます。他の機器が接続されている場合の最大値は 12.95W です。PoE 機器が供給する電源が電話機のみの場合、電源レベルは 2 が適切です。最大は 6.49W です。

本電話機のレベルは 2 です。

7 トラブルシューティング

| 現象 | 対策 |
|---|--|
| 電話機が動かない | 1. 電源に接続しているかどうか確認します。 2. PoE ポートに電源が来ているか確認します。 3. イーサネットケーブルが正常かどうか確認します。 |
| IP アドレスを取得できない | 1. IP アドレスの取得方法が良いか確認してください。 2. ネットワークが正常かどうか確認してください。 3. VLAN の設定が正しいか確認してください。 |
| WEB インターフェースにログインできない | 電話機とコンピューターがネットワークにつながっているか確認してください。 |
| スピーカーから音が出ない | 1. 電源に接続されているかどうか確認してください。 2. 音量調節により適切な音量を設定してください。 |
| 電話機が異常 | 電源を切ります。1 分後正常に動作するか確認してください。 |
| "Service unavailable" または Temporarily Unavailable" が表示される | 通信回線あるいは IP 設備で輻輳（通信が混雑する事）が発生します。しばらくしてから通信を再開してください。 |

8 使用上の注意

- 本機を埃っぽい場所や汚れのつきやすい場所で使用する事は避けてください。また、テレビや電子レンジなど電磁波が発生するものの近くには設置しないでください。直射日光のある場所、熱源の近くや湿度の高い場所での使用は故障の原因となる事がありますので避けてください。
- 本製品を風呂場、手洗い場などの水のそばで使用しないでください。
- 雷雨の時は本機を使用しないでください。感電する危険があります。
- ガス漏れが発生している付近では本機を使用しないでください。
- お手入れは中性洗剤を少量溶かした水に柔らかい布を浸し、固く絞った上で本機を拭いてください。協力な薬品、洗浄剤などは使用しないでください。

9 JATE 認証

JATE 認証：Jacob Jensen IP60 DE18-0108005

10 回線ジャック

RJ45 USOC の回線ジャックをご使用ください。

11 保証

- 本機の保証範囲は保証書に記載の範囲とします。
- 本機の保証は購入後 12 ヶ月です。また、販売後 5 年経過以降は修理出来ない場合があります。5 年以内でも仕様変更などにより同等品の交換とさせていただく場合があります。
- 本機の保証は Jacob Jensen 日本総輸入代理店 株式会社ピーオーエスの保証書が添付された正規輸入品に限ります。
- 本製品の技術的仕様、および説明書の内容は予告なく変更する場合があります。
- 製造者並びに供給者は本製品の使用により生じた、お客様のいかなる損害や支出、利益の損失、その他の損害のいずれに対しても一切の責任を負わないものとします。

12 仕様

| | |
|--------|---|
| ダイヤル方式 | トーン（プッシュ） |
| 本体サイズ | 約 136(W) × 200(D) × 45(H)mm (送受話器含み、コード類および電話機台を含まず) |
| 質量 | 約 490g (送受話器、カールコード含む。回線コード、電話機台含まず) |
| 設置方法 | 卓上設置／壁面設置 |
| 電源 | PoE 機器より給電 |
| 使用温度範囲 | 0 ~ 40°C |

輸入元 / 日本総代理店：株式会社ビーオーエス

〒359-1152 埼玉県所沢市北野 1-4-3

TEL : 04-2938-2277

FAX : 04-2938-2770

E-mail : tel@posjapan.co.jp

<http://www.posjapan.co.jp>

<修理受付センター>

〒358-0055 埼玉県入間市新光 191-1 奥井組 F-1 棟 2F

株式会社ビーオーエス F-1 棟内 修理受付センター

TEL : 04-2946-7601

FAX : 04-2946-7606

(受付時間 10:00 ~ 16:00 土日祝を除く)

©2020 P.O.S. Co., Ltd.

Product by: Bell Xpress A/S, Sletvej 50, 8310 Tranbjerg J, Denmark. www.bellxpress.dk
www.jacobjensen.com



Generation to generation...